

大阪大学 文書館設置準備室だより

第10号

2012.3.31

目次	3学部成立式典……………1	受贈刊行物……………5
	「議事録未作成」問題は対岸の 火事か？ 瀬畑 源……………2	業務日誌（抄）……………12
	学内刊行物の資料価値 一文書館設置のために— 菅 真城……………4	大阪大学文書館（仮称）設置検討 ワーキング委員名簿……………14
		大阪大学文書館設置準備室員名簿……………14



3学部成立式典

大阪帝国大学は、医学、理学、工学の3学部からなる理科系総合大学を標榜して1931(昭和6)年5月1日に設置されましたが、当初の学部は医学、理学のみで、その実態が整うにはなおしばらくの年月を必要としました。医学部は大阪医科大学の国立移管により実現しましたが、新設の理学部には専用校舎がなく間借り状態でした。大阪工業大学を改組して工学部が設置されたのは、大学設置2年後の1933年です。

そのような状況を経て、1934年6月20日に、理学部校舎の落成祝賀を兼ねて、3学部成立式典が医学部大会堂で挙行されました。総合大学としての名実が揃った、大阪大学のもう一つの記念日です。

(菅 真城)

「議事録未作成」問題は対岸の火事か？

一橋大学大学院社会学研究科特任講師 瀬畑 源

1. 「議事録未作成」問題

2012年1月22日、NHKによって原子力災害対策本部の議事録が未作成だったことが報じられた。この報道を受け、公文書管理を担当する大臣である岡田克也副総理が東日本大震災に対応するために設置された15の会議等を調査をさせたところ、議事録を作成していた会議は5にとどまり、議事概要を作成していたのが9（一部作成を加えると11）、議事概要・議事録ともに存在していなかった会議が3との結果が出た。特に、原子力災害対策本部や緊急災害対策本部の会議に議事概要すらないこと、政府・東京電力統合対策室にも一部しか議事概要が残っていないことは、震災に関する最も重要な政策決定の過程が不明となっていることを意味しており、野党やマスメディアから厳しい批判にさらされることになった。

この批判の根拠となったのは「公文書管理法」である。公文書管理法の第4条には、行政機関の職員は「当該行政機関における経緯も含めた意思決定に至る過程並びに当該行政機関の事務及び事業の実績を合理的に跡付け、又は検証することができるよう」文書を作成しなければならないとあり、具体例の一つとして「閣議、関係行政機関の長で構成される会議又は省議（これらに準ずるものを含む。）の決定又は了解及びその経緯」が掲げられている。このため、原子力災害対策本部などで議事録が残っていないのは、この条文に違反するのではないかと批判されたのである。

2. なぜこのようなことが起きたのか？

では、なぜこのような重要な会議の議事録が作られなかったのだろうか。この問題が発覚した当時、大手紙などでは「民主党の体質に問題がある」という主張が相次いだ。しかし、公文書管理法の制定に至る過程を見てきた筆者からすれば、それは短絡的な分析だと思わざるをえない。この問題の原因を考えるには、これまで公文書管理がどのように行われてきたのかを分析する

必要がある。

そもそも今回話題となっている公文書管理法が施行されたのは昨年4月である。逆に言えば、それまでは公文書の管理に関する事項は法律で決められていなかったことを意味している。

公文書管理の歴史をさかのぼると、明治期の官僚制のあり方に規定されていることがわかる。明治憲法によれば、各大臣はそれぞれが単独で天皇を輔弼することとなっていたため、大臣の下にある各行政機関の独立性は強固なものであった。また、官僚は天皇に対してのみ説明責任を負っていた。よって、文書を作成し、それを永久保存するか廃棄するかといった一連の管理方法は各機関の判断に委ねられた。

そして官僚がきちんと管理しようとした文書とは、業務に必要な法令の条文や自分たちの人事記録などであり、政策決定過程の文書は、それ自体が業務に不可欠な外務省などを除いては、不要な文書として捨てられていった。彼らにとっては「何が決まったか」が重要であり、その途中経過は永久に保存する必要の無いものだったのである。

敗戦後、憲法は変わったが官僚制は温存され、公文書管理も戦前と同様に各機関任せとなり、彼らの必要に応じて行われていった。また、国民に対する説明責任という概念もなかなか官僚には浸透しなかった。情報公開法の制定を求める運動が日本で活発化するのには1970年代半ばであるが、情報公開法が制定されるまでには約20年の月日が必要だった。

2001年4月に情報公開法が施行される際に、情報公開の前提となる公文書管理の重要性も指摘され、各機関統一の文書管理規則を作るためのガイドラインが定められた。しかし、ガイドラインはあっても、公文書管理自体は各大臣の裁量に委ねられたため、統一的な管理は不十分なものとどまった。

さらに施行後に大きな問題となったのは、文書「不存在」の問題である。つまり、情報公開請求しても、対象文書が存在しないとして公開を

拒否する事例が相次いだのである。この原因は大きく分けて2つあると考えられている。1つは、請求する側が知りたい政策決定過程に関わる文書は、官僚にとっては不要なために捨ててしまっているケースである。もう1つは、請求対象にしないために「私的メモ」にとどめ、「行政文書」と見なさないというケースである。情報公開法における行政文書の定義には「組織的に用いるもの」という一文が入っているため、「組織的に共有していないメモである」と主張すれば、情報公開法の請求対象から外すことができたのである。

このような未作成の問題や、相次いだ公文書管理に関する不祥事（消えた年金問題など）によって公文書管理法の必要性が浮上することになり、2009年に法律が定められ、昨年4月に施行されることになった。特に上記した第4条は重要であり、政策決定過程を残すことが国民に対する説明責任を果たすために不可欠であるとされた。つまり、これまで官僚の都合で公文書を管理してきた論理を転換して、国民のために公文書を管理することが求められることになったのである（詳しくは拙著『公文書をつかう—公文書管理制度と歴史研究』青弓社、2011年を参照）。

今回の議事録未作成問題は、公文書管理法による「論理の転換」が官僚に理解されていなかったことから起きている。そのため、議事録は彼らの業務に必要なもので作られなかった。また、議事概要が作られていない会議では、概要を「私的メモ」として処理されていたものと思われる。例えば、公文書管理委員会による原子力災害対策本部へのヒヤリングの結果によれば、「出席者による議事メモ、記録等は存在しているが、本部として確認された議事概要は未作成」であるとのことであり、このことを裏付けている。

議事録未作成は決して民主党の体質から発生している問題ではない。むしろ、官僚のこれまでの働き方に主因がある。この点を改善しない限り、政権を交代しても同じ事が繰り返されるだろう。

3. 対岸の火事ではない

この議事録未作成問題、果たして中央官庁に特有の現象なのだろうか。

国立大学法人は公文書管理法の対象となっている。ということは当然だが大阪大学もこの法

律の対象である。よって、大阪大学は政策決定過程が検証可能な文書を作成する「義務」がある。

大阪大学の最高意思決定機関は役員会である。役員会は月1回開かれており、議事概要はウェブサイトで公開されている。しかし、毎回5分程度で終わっており、政府の閣議同様「調整が終了したもの」が議決されているにすぎない。よって政策決定上重要な会議は、毎週月曜日に「課題の検討や意見交換」のために行われている役員連絡会であろう。この役員連絡会の議事概要はウェブサイトに上げられていない。議事録が残っているかどうかは法人文書ファイル管理簿からはわからない（一括で検索できるシステムが無いので見落とししているかもしれない）。

果たして大阪大学の政策決定過程はきちんと記録されているのか。もちろん筆者には与り知らぬところである。ただ、議事録未作成問題は決して「対岸の火事」ではない。この問題を自らのこととして認識し、自校の政策決定をたどれる文書がきちんと残されることを期待したい。



瀬畑氏の著書『公文書をつかう』

◆「源清流清—瀬畑源ブログ—」

<http://h-sebata.blog.so-net.ne.jp/>

学内刊行物の資料価値—文書館設置のために—

大阪大学文書館設置準備室講師 菅 真城

1. 文書館設置準備室の資料収集

大阪大学文書館は、保存期間が満了した法人文書（公文書）のうち歴史的に重要なものの移管を受け、それを整理・保存・公開することを業務の中核にすることを構想しています。文書館設置準備室（以下「準備室」）では、その実現に向けて、日々努力してまいりました。

しかし、これまで準備室に移管された法人文書はありません。それは、法律（公文書管理法）によって、「国立公文書館等」として内閣総理大臣の指定を受けた施設にしか法人文書に移管することができないためです。準備室では、「国立公文書館等」の指定を受けるために鋭意努力していますが、指定を受けていなくてもできることにも取り組んでいます。その活動の中心は、学内刊行物の体系的な収集です（このほか、大阪大学に関する個人資料の収集等も行っています）。準備室発足以来、「部局刊行物の寄贈について（依頼）」という文書を本部各課室・各部局に発送し、学内刊行物を収集してきました。その依頼文を以下に示します。

平成18年7月に設置された文書館設置準備室では、近い将来に資料公開を含む本格的な文書館（仮称）設置を目指して、大阪大学の歴史に関する文書（法人文書を含む。）の収集・整理・保存及び調査などの文書館設置に向けた業務を行っております。

さて、文書館が収集する資料として重要なものの中に、全学及び各部局において刊行する定期・臨時の印刷刊行物があります。これらの刊行物は大阪大学の歩みを的確に伝える機能を持っており、それを体系的に収集・保存する必要があります。つきましては、貴部局において下記の刊行物を発行された際には、文書館設置準備室まで1部御寄贈いただきますようお願いいたします。

記

収集対象史料（例示）

- 1 年史、沿革史、略史その他の歴史書
- 2 広報誌（紙）・ニューズレター等広報刊行物
- 3 履修案内、シラバス、講義時間割表その他の修学資料
- 4 大学要覧、入学案内、部局概要・案内等
- 5 自己点検評価報告書、外部評価報告書その他の教育研究活動に関する報告書
- 6 調査統計報告書その他の行政資料
- 7 公開講座・講演のプログラム等
- 8 記念行事等における配布印刷物、記念誌等

※各部局発行の研究紀要、学術著作物、学術雑誌等につきましては、原則として収集対象としておりませんので、ご了承願います。

この依頼文のほか、準備室で把握できた学内刊行物については、タイトルを指定しての寄贈依頼も行ってきました。幸い、各事務担当者の協力を得て、近年の学内刊行物については、ある一定の精度で収集することができました。その内容については、本誌「受贈刊行物」欄で紹介しています。こうして収集した学内刊行物は種々多様なものです。では、なぜ準備室ではこれらを収集しているのでしょうか。次章では学内刊行物の資料価値について改めて考えてみたいと思います。

2. 〈本尊〉と〈脇侍〉—公文書と学内刊行物—

学内刊行物の価値として、まず第一に、外部に対して大学の公的な意思を表明したものであるということがあげられます。そして、その内容は、公文書を凝縮して分かりやすく編集されています。情報公開や歴史研究のみならず、職員の業務利用上の価値も高いものです。将来文書館が開館された暁でも、まず第一に利用され

る資料は学内刊行物でしょう。

では、ポスターやリーフレット等はどうでしょうか。これらも他の刊行物と変わらず収集すべきものです。その資料価値や機能は、冊子等と同様です。しかのみならず、デザイン等文化的に固有な価値も有しています。大学の歴史を展示したり写真集を作成したりするときには、これらビジュアルな刊行物は大いに役立ちます。

また、大学という教育研究組織に即して考えると、教育研究の内容が法人文書に記載されることはあまりありません。大学の教育研究の一端を表す資料としての価値も、学内刊行物には有しています。

要するに、学内刊行物は公文書を補完し、さらにあるものは公文書以上に大学の歩みを伝えるものなのです。山口県文書館の戸島昭氏は、公文書を〈本尊〉に、行政資料（刊行物）を〈脇侍〉にたとえ、多種多様な〈脇侍〉を残すことも文書館の任務であると述べられました（戸島昭「地方自治体の記録をどう残すか—文書館へのステップ—」全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本のアーカイブズ論』岩田書院、2003年、初出1993年）。戸島氏は地方自治体に即して論じられましたが、これは大学においても同様です。準備室では、来るべき〈本尊〉＝公文書（法人文書）の移管に備え、まずは〈脇侍〉＝学内刊行物の体系的収集に努めているのです。

付言すると、学内刊行物はこのような価値を持つにもかかわらず、多くは消耗品として扱われ、意識的に収集・保存されることはあまりありません。学内刊行物の体系的な収集は、文書館の固有の業務として位置づけられるべきと考えられます。

なお、大学の刊行物について論じた研究に、堀田慎一郎「大学アーカイブズと「大学資料」

（刊行物資料）—名古屋大学における理論と実践—」（『名古屋大学大学文書資料室紀要』第14号、2006年、<http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/jspui/handle/2237/9484>）があります。

3. まずは〈脇侍〉＝学内刊行物から

大阪大学では、文書館を設置して、公文書管理法に基づいて「国立公文書館等」としての指定を受けることを考えています。しかし、「国立公文書館等」の指定を受けるには、書庫整備等のハードルが高く、躊躇している大学があるかもしれません（詳しくは、拙稿「公文書管理法と国立大学アーカイブズ」『レコード・マネジメント』No. 60、2011年、拙稿「公文書管理法への国立大学法人の対応と課題」『レコード・マネジメント』No. 61、2011年、参照）。そうであっても、まずは学内刊行物の体系的な収集に努められてはどうでしょうか。再び、戸島昭氏の見解を引用しておきます。

ナマの公文書を引継・保存する文書館制度を確立していない小規模の市町村にあっても、印刷刊行した行政資料を、一部ずつでも取り出して、別置することは容易である。とりあえず、既設の図書館や資料館などでも、これらの収集は可能であろう。その蓄積の連続が、やがて文書館の設立を必要とする、有力な基盤となるはずである。

この言説もやはり、大学においてもあてはまります。筆者は学内刊行物の収集・保存が文書館への第一歩であると確信しています。

受贈刊行物（2011年9月～2012年2月）

追手門学院大学

追手門経営論集 第17巻第12号、追手門経済論集 第46巻第1号、国際教養学部紀要 第5号

大阪市立大学大学史資料室

大阪市立大学史紀要 第4号

学習院大学大学院人文科学研究科

アーカイブズ学専攻

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻平成23年度第2回入試説明会〈博士前期課程・博士後期課程〉(チラシ)、記録を守り記憶を伝える(リーフレット)

金沢大学資料館

金沢大学資料館だより 第37号、金沢大学資料館平成20年度特別展 うけつがれた「モノ」たち 明治・大正・昭和の掛図・模型(図録)、金沢大学創基百五十年記念事業関連企画 平成二十二年度金沢大学資料館特別展前身校の先達たち～四高と医科大の10人～(図録)、金沢大学創基百五十年記念事業関連企画 平成二十三年度金沢大学資料館特別展 金大事始～加賀藩種痘所から学都金沢へ～(図録)

関東学院学院史資料室

関東学院学院史資料室ニュース・レター 第15号

九州大学大学文書館

九州大学大学文書館ニュース 第36号、九州大学百年史写真集

京都産業大学

サギタリウス Vol.53・54

京都大学大学文書館

京大教育学部と教育学研究の戦前・戦後(チラシ)、京都大学文書館だより 第21号、京都大学大学文書館企画展 京大史のなかの広報(チラシ)

熊本大学

熊本大学60年史写真集

慶應義塾福澤研究センター

慶應義塾福澤研究センター通信 第15号

神戸国際大学

神戸国際大学紀要 第81号、神戸国際大学経済経営論集 第31巻第2号

神戸女学院史料室

学報 Kobe College Bulletin No.163

淑徳大学アーカイブズ

平成23年度淑徳大学アーカイブズ特別展「近代日本における感化教育の黎明期－東京感化院と千葉感化院－」(チラシ)、淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第3・4号

女子美術大学

女子美術大学創立110周年記念 略年史「女子美百年」、女子美術大学歴史資料室ニュースレター TEXNH MAKPA 第3号

専修大学大学史資料課

黎明館・専修大学合同企画展 日本の財政学を築いた薩摩藩士～専修大学創立者・田尻稻次郎の生涯～(チラシ・ポスター)

大東文化歴史資料館

大東文化大学第一高等学校創立50周年(2012年)プレ企画「登山家加藤保男と大東文化大学第一高等学校」展(パンフレット)、大東文化歴史資料館だより 第11号、大東文化大学2012 Calendar～キャンパスの変遷～

中央大学大学史編纂課

中央大学史資料集 第24集、中央大学創立125周年記念展示 学びのたから中央大学の起源・絆・記憶

東海大学学園史資料センター

東海大学学園史ニュース 第6号

東京大学史史料室

東京大学史史料室ニュース 第47号

同志社女子大学史料室

同志社女子大学史料室講演会記録 3 M.L.ゴードンとM.F.デントンの出会いをめぐって 日比恵子、同志社女子大学史料室第17回企画展 同志社女子大学135ものがり(チラシ・ポスター)

同志社大学同志社社史資料センター

第40回 Neesima Room 企画展 京都の中の同志社－相国寺、朝廷と明治の近代化－(パンフレット・チラシ・ポスター)、第41回 Neesima Room 企画展 京都の中の同志社－相国寺、朝廷と明治の近代化－シンポジウム「京都の中の同志社」(チラシ・ポスター)

東北学院広報部広報課

東北学院資料室 Vol. 10、「東北学院資料室」第10号別冊 野澤正「東北学院労働會歴史」

東北大学史料館

東北大学史料館だより No.15、平成23年度東北大学史料館企画展 探してみよう！東北大学のアーカイブズ(チラシ)、東北大学史料館魯迅記念展示室 常設展 魯迅と東北大学－歴史のなかの留学生－(チラシ)

東洋英和女学院

楓園 No.65～67、史料室だより No.77

東洋大学井上円了記念学術センター

井上円了センター年報 Vol.20

長崎大学

広報誌CHOHO Vol.37・38、長崎大学リレー講座2011
東日本大震災後の日本を考える(パンフレット)

南山学園史料室

南山学園史料集7 イルサ・フォン ライスナー作品集、
南山アーカイブズニュース 第4号

日本大学広報部大学史編纂課

日本大学のあゆみ 第3巻、日本大学大学史編纂課だ
より 第2号

広島大学高等教育研究開発センター

戦略的研究プロジェクトシリーズV 知識基盤社会と大
学・大学院改革、RIHE International Seminar Reports
No.17, November 2011

武蔵野美術大学大学史史料室

Archive&Archives05

国文学研究資料館

史料目録 第91集

全国大学史資料協議会

研修叢書第12号 大学史編纂・史料保存と自校史教育

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイヴズ No.45

財団法人野間教育研究所

野間教育研究所紀要 第50集「学校沿革史の研究 高
等学校編1」長野県の高등학교沿革史

わだつみのこえ記念館

わだつみのこえ記念館(リーフレット)、2011年特別企画
展「中国との戦争と戦没学生」解説書、わだつみのこえ
記念館開館5周年特別企画展「中国との戦争と戦没学
生」(チラシ)、記念館だより No.5

あおぞら財団

資料館だより No.38・39

尼崎市立地域研究史料館

地域史研究 第111号

大阪市公文書館

大阪市公文書館年報 第23号

沖縄県公文書館

ARCHIVES沖縄県文書館だより 第41号、沖縄県公文

書館研究紀要 第13号

神奈川県立公文書館

神奈川県立公文書館だより 第26号

京都府立総合資料館

総合資料館だより No.169・170、総合資料館収蔵品展
(チラシ)

国立公文書館

アーカイブズ 第45・46号、国立公文書館報北の丸 第
44号

寒川文書館

寒川文書館だより Vol.10、平成22年度 寒川文書館年
報 第4号

栃木県立文書館

文書館だより 第50号

長野県立歴史館

平成23年度 春季展「武士の家宝～かたりつがれた御
家の由緒～」、平成23年度 夏季企画展「激動を生きぬ
く～信濃武士市河氏の400年～」、長野県立歴史館たよ
り vol.68～70、平成23年度 秋季企画展「観光地の描
き方～浮世絵版画から観光パンフレットまで～」(図録・
チラシ・招待券)、平成23年度冬季展 郷土のお宝「重
文・県宝」を見よう(チラシ・招待券・ポスター)、平成23年
度 やさしい信濃の歴史講座(チラシ)、近世史セミナー
(チラシ)、長野県埋蔵文化財センター速報展「長野県の
遺跡発掘2012」(チラシ・招待券)、長野県立歴史館 催
しもの案内 平成24年度、震災1周年現地報告会 3.12
栄村大震災で何が起きたかー地震のメカニズムと文化
財の救出活動を振り返るー(チラシ)

福島県文書館

文書館だより 第18号

福島県歴史資料館

福島県史料情報 第31号、平成23年度地域史研究講
習会(チラシ)

和歌山県立文書館

和歌山県立文書館だより 第32号

大阪大学国際交流オフィス

ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY Academic
Achievement 2010-2011 Vol.12

大阪大学広報・社会学連携オフィス

阪大NOW No.126～130、阪大ニューズレター No.53・54、新聞記事に見る阪大Topics(2010.4～2011.3)

大阪大学総務企画部

大阪大学創立80周年記念事業(パンフレット・記念シール)、大阪大学創立80周年記念事業学生イベント(チラシ)、大阪大学創立80周年記念 PROGRAM、大阪大学創立80周年記念事業 国際シンポジウム・シリーズ(カラーパンフレット)

大阪大学研究推進部

Newsletter Vol1 March 2011 最先端研究開発支援プログラムFIRST川合プロジェクト 1分子解析技術を基盤とした革新ナノバイオデバイスの開発研究、1分子解析技術を基盤とした革新ナノバイオデバイスの開発研究(一般向け研究プログラム内容紹介冊子)、ISSMA 2011(国際シンポジウムプログラム・アブストラクト集)、公開シンポジウム「ナノバイオデバイス研究の最前線」(プログラム)

大阪大学学生部

博士学位論文 内容の要旨及び審査結果の要旨 第95集

大阪大学学際融合教育研究センター

平成22年度 学際融合教育研究センター 活動報告書、学際融合教育シンポジウム報告書「自己の成り立ち」、平成22年度 学際融合教育シンポジウム実施報告書、平成22年度 学生交流学際融合教育セミナー実施報告書、学際融合教育シンポジウム「変革の時代における大学院での学びー複眼的視野と学際的視点の涵養ー」(チラシ)

大阪大学安全衛生管理部

平成23年度大阪大学安全衛生講演会(ポスター)、平成23年度大阪大学秋季安全衛生集中講習会(ポスター)、平成24年度大阪大学安全衛生年間標語募集要項(ポスター)

大阪大学附属図書館

世界のわかものよ 第28・29号、咲耶 No.14(2003)・No.16(2005)、センター広報 創刊号・第3～8号、研究報告書 視聴覚資料の外国語授業への有効な取り入れ、これからの外大 第17・18号(特別号) 大阪外国語大学将来計画委員会広報、大阪外国語大学 1991・1992、2005 学生案内、大阪外国語大学外国語学部 授業評価アンケート調査結果報告書(平成13年11月実施)、平成12・13年度 夜間主(社会人教育)検討委員会報告

書、大阪外大通信 創刊号・第6号、大学案内 大阪外国語大学 2001 採用して下さる皆様へ、2005大阪外国語大学 大学院言語社会研究科 博士前期課程 博士後期課程、2006大阪外国語大学、外大の未来を拓く 創刊号～第6・8号、国立大学法人大阪外国語大学概要、大阪外国語大学での情報処理教育・インターネットの有効利用の研究、大阪外国語大学情報処理室広報 vol.1～5、学生生活室だより 新入生特別号、OUPS No.2・4・5、CAMPUS HEALTH 保健管理センターだより No.16、SCS運用研究 平成12年度教育研究学内特別経費プロジェクト研究成果報告書、2003年度 大阪外国語大学学生生活支援室 学生相談室年報 第2号、大阪外国語大学人権委員会報告書、するな!ゆるすな!人権侵害!(リーフレット)、Living British English(PART I)、COMME UN BOOMERANG、教育方法改善に関する報告書 1993、カリキュラム等改善に関する結果報告書、外国語学部カリキュラム等の再検討ー中間報告ー、教育の現状と課題の把握のためにー三つのアンケート結果報告書ー、留学生日本語教育センターにおける教育活動の点検・評価 平成10年度教育研究学内特別経費プロジェクト研究成果報告書、Osaka University of Foreign Studies 2004、MAPLE PROGRAM(MAP)2001ー2002、MAPLE PROGRAM 2005ー2006、平成16年度 学生指導担当者研究会報告書、大阪外国語大学外国語学部 「授業評価アンケート」「カリキュラム評価アンケート」「教員によるカリキュラム・授業評価アンケート」調査報告書(その1)、大阪外国語大学外部評価報告書、平成17年度大阪外国語大学日本語日本文化教育センター外部評価報告書、GUIDE BOOK FOR FOREIGN STUDENTS(留学生のためのガイドブック)、平成6年度・留学生会館の報告書、大阪外国語大学大学院概要 ゆっくり地球儀をまわしてみませんか?、留学生日本語教育センター棟図書室利用案内、大阪外国語大学外国語学部 授業評価アンケート調査結果報告書、大阪外国語大学咲耶会東京支部 2002月例講演集、教育機関におけるボランティア活動の可能性ー大阪外国語大学が阪神大震災から学んだものー、教育機関におけるボランティア活動の可能性(Ⅱ)ー生活実感力という新しい視点からボランティアを考えるー、大阪外国語大学大学改革討議資料集、大阪外国語大学大学改革討議資料集(その2)、教養のための体育・スポーツ、大阪外国語大学学内LAN利用の実際と今後 平成8年度教育研究学内特別経費プロジェクト研究成果報告書、昭和38・42～48・51～54・平成3～10年卒業者名簿、大阪外国語大学要覧 1980・1982・1986・1988・1990～1992・平成5年、Osaka University of Foreign Studies 1987ー88、大阪大学図書館報 45巻2号

大阪大学大学院文学研究科・文学部

大阪大学文学部・文学研究科 国際交流News Letter Vol.1、平成24(2012)年度 大阪大学大学院文学研究科 博士前・後期課程(文化形態論専攻・文化表現論専攻) 学生募集要項、大阪大学大学院文学研究科修士課程(文化動態論専攻)学生募集要項、平成23年度 学生便覧 2011～2012、大阪大学大学院文学研究科 年報 2010教育・研究(2008～2009年度)、大阪大学大学院文学研究科・文学部紹介 2011～2012、大阪大学文学部 2010年度超短期プログラム 人文学のための日本語 日本のアートの冒険報告書、An Osaka University Short Intensive Programme “Adventures in Japanese Art” (リーフレット)、留学のチャンスを活用しましょう (2009・2010年度版リーフレット)、大阪大学大学院文学研究科 [入学者募集] (2011・2012年度版ポスター大・小)、大阪大学大学院文学研究科新専攻「文化動態論(修士課程)」入学者募集(平成20～22年度版ポスター大・小)

大阪大学大学院法学研究科・法学部

平成22年度法学研究科・法学部授業科目時間割(第2学期)、平成23年度法学研究科・法学部授業科目時間割(第1・2学期)、平成23年度 学生ハンドブック 大阪大学大学院法学研究科・法学部

大阪大学大学院医学系研究科・医学部

大阪大学大学院医学系研究科・医学部要覧 2011、Osaka University Graduate School of Medicine, Faculty of Medicine 2010、大阪大学医学部医学科(パンフレット)、施設便り 2011(年報)

大阪大学医学部附属病院

平成22年度 アニュアルレポート、Nutrition News No.3・4、キャンパスメンバーズって知ってる??(チラシ)、臨床試験部News 第10・11号、阪大病院臨床研究セミナー 平成23年度第2回更新講習会 メインテーマ「Global CROからみた国際共同治験の最近の動向」(チラシ)、阪大教職組ニュース No.7(632号)、これからの医療・介護・健康産業に求められる技術と人材セミナー(チラシ)、環境安全ニュース No.42、お〜いNET No.99～104、第7回大阪大学医工情報連携シンポジウム 第2回MEI産学官連携部門勉強会講演会 第13回未来医療交流会(チラシ)、第8回大阪大学医工情報連携シンポジウム スーパーコンピューティングと医療・バイオ(チラシ)、第63回未来医療セミナー 先端医学研究における放射光の活用ーSpring-8とライフ・イノベーションー(チラシ)、第64回未来医療セミナー 未知の生理活性ペプチドへの挑戦(チラシ)、I.C.T. Monthly no.177～182、Handai Hospital 阪大病院ニュース 第44・45号

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

大阪大学大学院歯学研究科等研究業績目録 2006～2010

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校

平成24年度 学生募集要項 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校、大阪大学歯学部附属歯科技工士学校(パンフレット)

大阪大学大学院工学研究科・工学部

大阪大学大学院工学研究科 平成24(2012)年4月入学 博士前期課程学生募集要項(学部3年次生を対象とする特別選抜)、大阪大学大学院工学研究科 平成24(2012)年4月入学博士後期課程 学生募集要項 第2次募集、平成24年度大阪大学工学部編入学学生募集要項、平成23年度工学部授業時間割表(第1・2学期)、大阪大学工学部 2012 大阪の知力大阪の野心、平成23年度(2011年度)工学部教育科目履修要覧(平成23年度入学者用)、大阪大学大学院工学研究科 平成25(2013)年4月入学 博士前期課程推薦入学特別選抜学生募集要項

大阪大学大学院国際公共政策研究科

OSIPP 2011/2012(パンフレット)、COURSE HANDBOOK 2011 OSIPP、OFC NEWSLETTER 第11号、OSIPP NEWSLETTER 2011年 秋号(No.58)、シンポジウム「アジアにおける平和と人間の安全保障の促進に向けて」(チラシ・ポスター)

大阪大学大学院情報科学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科年報 第6号、大阪大学大学院情報科学研究科(パンフレット)、大阪大学大学院情報科学研究科(英文パンフレット)、OACIS Annual Report 2010、創造ービジネス情報システム講座 薦田・秋吉研究室 2010ーNo.19、大阪大学大学院情報科学研究科情報基礎数学専攻 2011、大阪大学大学院情報科学研究科 平成23年度「一日体験教室」へのお誘い、情報と物理と数学を繋ぐ情報数理学シンポジウムIPS2011講演要旨集、Emergent Robotics Adaptive Robotics Annual Report 2010

大阪大学大学院高等司法研究科

大阪大学大学院高等司法研究科 平成23年度授業時間割(表面第1学期・裏面第2学期)、平成23年度 学生ハンドブック 大阪大学大学院高等司法研究科、平成23年度 大阪大学大学院高等司法研究科(法科大学院)学生募集要項、大阪大学大学院高等司法研究科 ニューズレター No.5～8、大阪大学大学院高等司法研究科 法科大学院 2011～2012(パンフレット)、Handai

Law Letter 創刊号、平成22年度学際融合教育研究センター活動報告書、平成22年度学際融合教育シンポジウム実施報告書、平成22年度学生交流学際融合教育セミナー実施報告書

大阪大学産業科学研究所

産研ニュースレター 第43・44号、大阪大学産業科学研究所要覧 2011

大阪大学蛋白質研究所

大阪大学蛋白質研究所要覧 2011、プロテオミクス総合研究センターだより No.32

大阪大学社会経済研究所

大阪大学社会経済研究所要覧 2011

大阪大学接合科学研究所

TRANSACTIONS OF JWRI Vol.40No.1 2011

大阪大学低温センター

大阪大学低温センターだより No.155・156

大阪大学環境安全研究管理センター

環境安全ニュース No.43・44

大阪大学総合学術博物館

脳の中の「わたし」と情報の中の「私」(チラシ・ポスター 大・小)、大阪大学総合学術博物館 年報 2010

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

Communication-design [5]、VOICE AUTUMN 2011

大阪大学金融・保険教育研究センター

平成24年度4月入学 大阪大学金融・保険教育センター科目等履修生高度プログラム「金融・保険」募集要項

大阪大学科学教育機器リノベーションセンター

大阪大学科学教育機器リノベーションセンターニュースレター Vol.2、第3回 革新的研究教育基盤機器開発整備事業ならびにリユース研究教育基盤機器整備報告会－阪大開発先端機器とリユース機器の学内外利用に向けて－

大阪大学グローバルコラボレーションセンター

グローバル共生 想像されない共同体へ(チラシ)、人間の安全保障と開発 国際協力に興味のある人集合！(チラシ)、司法通訳翻訳 コミュニケーションの手段としての通訳翻訳と行政・司法の世界をつなぐ(チラシ)、現

代中国研究 中国を識る、東アジアを生きる(チラシ)、グローバル健康環境 健康と環境をグローバルに捉え、国際性、健康、環境を複合的に学ぼう！(チラシ)、国連政策エキスパートの養成 国際公共セクターでのキャリアをめざす(チラシ)、医療通訳 医療現場でことばの壁をこえて…(チラシ)、グローバルコラボレーションセンター(チラシ)、海外フィールドスタディ(チラシ)、海外インターンシップ I・II(チラシ)、フィールドから考えはじめるために「GLOCOLのフィールドワーク関連科目群」(チラシ)、海外体験型教育企画オフィス(FIELD)学生用自主学習スペース STUDIO(チラシ)、平成23年度JICA大阪「夏期インターンシップ実習」募集(チラシ)、海外フィールドスタディ試行プログラム報告会 フィールドスタディで何が学べるか？－体験者からの報告－(チラシ)、GLOCOLセミナー(72)/FIELDグローバル・エキスパート連続講座(6) テクノロジーで貧困をなくそう(チラシ)、GLOCOLセミナー(73) フィールドワークにおける倫理的ジレンマ(チラシ)、GLOCOLセミナー(74) 学生は世界でどう成長するか(チラシ)、GLOCOLセミナー(75) フィールドで得た知識は誰のものか？(チラシ)、GLOCOLセミナー(76)/FIELDグローバル・エキスパート連続講座(7) 国連機関(ユニセフ)で働くということ(チラシ)、GLOCOLセミナー(77)/FIELDグローバル・エキスパート連続講座(8) アフリカの紛争解決と平和構築を志す人へのメッセージ(チラシ)、GLOCOLセミナー(78)/FIELDグローバル・エキスパート連続講座(9) 日本発、防災NPOの挑戦(チラシ)、「国連政策エキスパート・キャリア形成論」一般公開講座 国際機関キャリア・ガイダンス(チラシ)、「国連政策エキスパート・キャリア形成論」一般公開講座 国際機関における評価の理論と実践(チラシ)、GLOCOL/ヒューライツ大阪セミナー 東部アフリカ・大湖地域における大規模人権保護の現状と今後の見通し(チラシ)、足もとの国際化連続セミナー 「体感できる社会対話」シリーズ(チラシ)、シンポジウム 南部スーダン、独立！(チラシ)、シンポジウム フィールドは世界だ(チラシ)、FIELDブラウニングランチ(BBL)セッション ユネスコ・バンコク事務所でインターンシップ！(チラシ)、UPCIS－Osaka University GLOCOL Seminar Natural Disaster and Global Collaboration:(チラシ)、遊牧の世界と「ニンジャ」たち－民主化以降のモンゴルの生存基盤を考える－(パンフレット)、GLOCOL 高度副プログラム(リーフレット)、大阪大学グローバルコラボレーションセンター海外体験型教育企画オフィス(リーフレット)、Fieldwork, Internship and Experiential Learning Design Office GLOCOL Osaka University(リーフレット)、地域研究コンソーシアム次世代ワークショップ トランスナショナルな子どもたちの教育を考える 第2回課題解決の方法を探る(チラシ)、地域研究コンソーシアム「コンソーシアム・ウィーク」シンポジウム 地域研究のだまし絵「グローバ

ル化」後に「地域」への眼差しを再考する(チラシ)、FIELDOブラウンバックランチ(BBL)セッション 新生国家南スーダンの課題～戦後復興・平和構築とフードセキュリティ～(チラシ)、GLOCOLプレゼンコンテスト2011発表者募集!(チラシ)、写真展 内戦から復興へ～新国家南スーダンの軌跡(チラシ)、グローバル化と少数民族の食・安全・健康(チラシ)、日中学生シンポジウム～海外調査・国際交流で得たものは～(チラシ)、FIELDO ブラウンバックランチ(BBL)セッション 手工芸品で儲けるには?(チラシ)、FIELDO ブラウンバックランチ(BBL)セッション OECDでのキャリアとインターンシップ(チラシ)、ライブパフォーマンス&トークセッション 外国人住民はコミュニティ放送の運営に参画できない!?(チラシ)、トランスナショナルな子どもたちの教育を考える～外国にルーツを持つ若者からのメッセージ～(チラシ)、国際キャリアデザイン・ワークショップ(チラシ)、GLOCOLブックレット 07 フード・セキュリティと戦争、公開シンポジウム 裁判員裁判経験の法廷通訳人が語る(チラシ)、FIELDOキャリアワークショップ(4)国際キャリアのための英語ワークショップ～自己分析と文書作成(ポスター)

大阪大学世界言語研究センター

世界言語研究センターNEWSLETTER No.4

大阪大学日本語日本文化教育センター

センター広報 第17号、大阪大学日本語日本文化教育センター 2010(要覧)、Intensive Japanese Programs履修案内 Spring・Fall Semester 2011-2012平成23年度春・秋学期、Course Descriptions授業案内 Spring・Fall Semester 2011-2012平成23年度春・秋学期、Weekly Schedule授業時間割 Spring・Fall Semester 2011-2012平成23年度春・秋学期、Maple Programメイプル・プログラム Spring・Fall Semester 2011-2012平成23年度春・秋学期

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディア・フォーラム No.12、大阪大学サイバーメディアセンター要覧 2011 October、Cybermedia Center, Osaka University information 2011 October、大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル No.1(初版)

懐徳堂記念会事務局

平成24年度懐徳堂古典講座(チラシ)

池田修(大阪外国語大学名誉教授)

『遼』司馬遼太郎記念館会誌 2009年夏季号 第32号

大野義照(大阪大学山岳会会長)

P29 第一～四次遠征記録(1961～1970) (DVD)、P29 1961～1970 大阪大学山岳会、P29西面

阿部武司(大阪大学)

平成22年度 アニュアルレポート、世界言語研究センターNEWSLETTER No.4、大阪大学世界言語研究センター論集 (第六号2011年)、大阪大学総合学術博物館年報 2010、国立民族学博物館研究報告 36巻1・2号、大阪産業大学産業研究所所報 第34号、「超域イノベーション博士課程プログラム」学生募集要項・パンフレット、2012年度グローニンゲン大学短期訪問プログラム参加者募集(チラシ)、Aiming for a Harassment-free University(チラシ)、ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY Academic Achievement 2010-2011 Vol.12、Communication-design [5]、ECONOMICS AND BUSINESS大阪大学大学院経済学研究科2011、EUインスティテュート関西(EUIJ関西)第13回国際シンポジウム「EU国際取引法と日本企業の今後」(チラシ)、GLOCOL海外体験型教育プログラム説明会(チラシ)、OSAKA UNIVERSITY 80th ANNIVERSARY Invitation、OSAKA UNIVERSITY PROSPECTUS 2010、OSAKA UNIVERSITY SAN FRANCISCO CENTER、OSIPP NEWS LETTER 2011年春号(No.57)、VOICE AUTUMN 2011・SPRING 2012、アートエリアビーワン B1 2(チラシ)、インフレイションと日本農業昭和21年2～6月、大阪大学 平成24年度学生募集要項、大阪大学医学部学園祭 中之島祭2011(チラシ)、大阪大学会館(リーフレット)、大阪大学会館完成式次第、大阪大学科学教育機器リノベーションセンターニュースレター Vol.3、大阪大学経済学部創設60周年記念事業委員会資料、大阪大学国際教育交流センター 2010年度年報、大阪大学国際教育交流センター研究論集 多文化社会と留学生交流 第15号、大阪大学就職ガイドブック、大阪大学創立80周年記念 PROGRAM、大阪大学大学院経済学研究科イノベーションマネジメントセンター(CMI)公開寄附講義:医療問題を考える(プログラム)、大阪大学大学院高等司法研究科ニュースレター No.7、大阪大学大学院副専攻プログラム 大学院等高度副プログラム 高度教養プログラム(リーフレット)、大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム開設(チラシ)、大阪大学図書館報 45巻1・2号、大阪大学ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム 平成24年度社会人教育プログラム受講生募集中(チラシ)、大阪大学における男女共同参画の推進のために(パンフレット)、大阪大学未来基金活動報告書2009-2010、学際融合教育シンポジウム「変革の時代における大学院での学び～複眼的視野と学際的視点の涵養～」(チラシ)、キャンパスハラスメント、経済学研究

科委員会 議題一覧、言文だより 第28号、神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ(チラシ)、神戸大学附属図書館利用案内(リーフレット)、室報 第33・34号 留学生相談室、社団法人生産技術振興協会 大阪大学生産技術研究会(リーフレット)、信金中央金庫ディスクロージャー誌 2011、震災文庫(阪神・淡路大震災関係資料文庫)(リーフレット)、新春トップセミナー 夢を抱いてチャレンジする熱き心(チラシ)、進路・就職報告システム(チラシ)、生産と技術 Vol.63(No.3・4・別冊)・Vol.64(No.1)、創立80周年記念事業 変更・延期・中止などについて、ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発(リーフレット)、第52回まちかね祭パンフレット、超知財戦略情報誌 Newテクノマート 創 創刊1・2号、ハイテクセミナー 将来のエネギー社会のあるべき姿(チラシ)、ハラズメントのない大学を目指して(チラシ)、平成22年度学際融合教育研究センター 活動報告書、平成22年度学際融合教育シンポジウム実施報告書、平成22年度学生交流学際融合教育セミナー実施報告書、平成23年度学生便覧、平成23年度授業概要(シラバス)大阪大学大学院経済学研究科・経済学部、

平成23年度全学共通教育科目履修の手引、平成23年度国立大学図書館協会近畿地区協会総会、平成23年度授業時間表1・2年次用、平成23年度全学共通教育科目授業担当教員マニュアル(必携)、平成23・24年度専門セミナー・研究セミナー履修の手引き、平成24年度大阪大学経済学部第3年次編入学学生募集要項、平成24年度 大阪大学大学院経済学研究科博士前・後期課程学生募集要項、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内、放送大学大阪学習センター開設二十周年記念誌、ラボカフェ 2012.02(リーフレット)、ロボティクス演劇祭(パンフレット)、ワークショップデザイナーになる(チラシ)

菅真城(大阪大学)

大阪大学経済学 第61巻第2・3号、大阪大学経済学 第61巻第2号抜刷「川島慶雄名誉教授に聞くー大阪大学の思い出」、大阪大学経済学 第61巻第3号抜刷「山中永之佑名誉教授に聞くー大阪大学の思い出(1)」、大阪大学職員録 平成22年

業務日誌(抄) (2011年9月～2012年2月)

2011年

- ・9月6日 「近畿大学の大学アーカイブズ構築に関する基礎的研究」メンバー4名、訪問調査のため来室。
- ・9月8日 平野総長・恵比須理事に文書館について説明。
- ・9月12日 尾山理事に文書館について説明。
- ・9月13日 施設マネジメント委員会で平成24年度からの箕面キャンパスの共通スペースの利用が認められる。
- ・9月16日 菅、高崎出張。平成23年度第3回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会大会・研修委員会(高崎市立中央図書館)に出席。
- ・9月20日 江口理事に文書館について説明。
- ・9月22日 「部局刊行物の寄贈について(依頼)」文書を各部局に送付。

- ・9月30日 菅、東京出張。第167回記録管理学会理事会に出席。
- ・10月3日 工学研究科機械工学専攻から大阪帝国大学工学部の講義ノートを移管。
- ・10月5日 阿部室長・菅、伊勢出張。全国大学史資料協議会2011年度総会ならびに全国研究会(皇學館大学)に出席(7日まで)。
- ・10月11日 防衛大学校から所蔵資料について照会。
- ・10月20日 第21回文書館(仮称)設置検討ワーキングを開催。
- ・10月24日 三上敦史氏(愛知教育大学)から所蔵資料について照会。
- ・10月27日 菅、高崎出張。第37回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国(群馬)大会(高崎市総合保健センター)に出席(28日まで)。

- ・11月2日 恵比須理事に文書館について説明。
- ・11月7日 菅、京都出張。京都大学大学文書館を視察。
- ・11月9日 筑波大学学生、卒業研究の調査のため来室。
- ・11月15日 大阪大学山岳会からネパールヒマラヤP29峰登山隊関係資料を受贈。
- ・11月17日 朝治啓三氏（関西大学教授）、大阪医科大学に関する資料調査のため来室。保科正彦氏から大阪医科大学卒業アルバムを受贈。
- ・11月18日 文書館の事務組織について尾山理事と協議。
- ・11月24日 総務企画部総務課・評価課と法人文書管理について打ち合わせ。
- ・11月26日 菅、東京出張。東京大学大学院情報学環附属社会情報研究資料センター高度アーカイブ化事業共同研究会&記念シンポジウム「研究者資料のアーカイブズー知の遺産 その継承に向けてー」（東京大学）に出席。
- ・12月1日 医学部附属病院総務課広報評価係から仮病院の創設資料について照会。
- ・12月3日 菅、都市問題研究「大阪市立大学と恒藤恭」連続シンポジウム第2回「近代日本の都市と大学ー創設期大阪市立大学と恒藤恭ー」（大阪市立大学）に出席。

- ・12月5日 菅、東京出張。第168回記録管理学会理事会（八雲クラブ）に出席。
- ・12月6日 平成24年度戦略的経費要求について総合計画室会議で承認される。
- ・12月7日 平成24年度戦略的経費要求書を提出。
- ・12月8日 田中健彦氏から資料受贈。
- ・12月13日 菅、アート・アーカイブズ概論で講義。
- ・12月16日 永島広紀氏（佐賀大学）、外地出身学生の調査のため来室。

2012年

- ・1月12日 池田修大阪外国語大学名誉教授のビデオ撮影。
- ・1月25日 戦略的経費要求が採択される。
- ・1月26日 園田昇名誉教授のビデオ撮影（第1回）。
- ・2月6日 菅、東京出張。一橋大学で大学アーカイブズについて講演。
- ・2月16日 園田昇名誉教授のビデオ撮影（第2回）。
- ・2月17日 学習院アーカイブズ・桑尾光太郎氏、当室の活動状況調査のため来室。

文書館設置準備室からのお願い

文書館設置準備室では、大阪大学(旧制の大阪帝国大学・大阪医科大学・大阪工業大学・大阪高等学校・浪速高等学校・大阪薬学専門学校・大阪外国語大学を含みます)に関する様々な資料を収集しています。広報誌などの学内刊行物、時間割、講義ノート、文書資料、学生運動関係等のビラ、写真(アルバム)、記念品など、大阪大学の歴史に関する資料がございましたら、文書館設置準備室にご寄贈もしくは貸与いただけますよう、お願い申し上げます。

大阪大学文書館（仮称）設置検討ワーキング委員名簿

2012年3月1日現在

委員

- ◎阿部 武司（文書館設置準備室長、附属図書館副館長、経済学研究科教授）
江口 太郎（理事・副学長、広報・社会学連携室長）
近藤 忠（総合計画室員、理学研究科教授）
細谷 裕（総合学術博物館湯川記念室委員会委員長、理学研究科教授）
竹中 亨（文学研究科教授）
飯塚 一幸（文学研究科教授）
中尾 敏充（法学研究科長）
廣田 誠（経済学研究科教授）
平尾 俊一（工学研究科教授）
進藤 修一（言語文化研究科准教授）
吉森 保（生命機能研究科教授）
阿部 浩和（サイバーメディアセンター教授）
廣川 和花（適塾記念センター准教授）

オブザーバー

- 恵比須繁之（理事・副学長、総合計画室長）
大西 愛（大阪大学出版会）
菅 真城（文書館設置準備室講師）

◎は主査

大阪大学文書館設置準備室員名簿

室長	阿部 武司
講師	菅 真城
嘱託職員	藤井 勝博
事務補佐員	石崎 光穂
	川口由美子

大阪大学文書館設置準備室だより 第10号

発行日 2012年3月31日
編集発行 大阪大学文書館設置準備室
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1
Tel. (072) 730-5113
Fax. (072) 730-5114
E-mail kan@hpc.cmc.osaka-u.ac.jp
[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/
ed_support/archives_room](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room)